

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	グループホーム めぐみ		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市港北区高田東3-33-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-542-2886
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年9月25日 16時15分 ~ 16時30分	場所	オンライン開催
----	---------------------------	----	---------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	日吉本町地域ケアプラザ ■■■■■

4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 利用者家族より

要介護5でコミュニケーションが取れる状況ではないが、先日本人と目が合っただけでニコッと笑ってくれて嬉しかった。これだけ皆さんにお世話になり本人もお礼と感謝でいっぱいだろうと思っている。自分もうまく言葉にできないが感謝している。季節も良く涼しくなってくるので外出できるように配慮をお願いしたい。

2. 事故について

- ①包括： 事故報告の仕方。運営推進会議で口頭での発表について行政報告を絞ったのは何故か。
- ②薬剤師： 新しい職員に対して、自分たち薬局もそうだが、段取りをきちっと正確に伝えて間違えのないような形を繰り返しやっていくことが、1件でも事故やヒヤリハットを減らしていくためには必要だと思う。
- ③医師： ヒヤリハットを出すことは大事。ヒヤリハットについて検討することも大事。しかし、インシデントが(結局)アクシデントになっているケースもあると感じられる。もう少し真剣に取り組まないと責任問題になる。意識レベルを高めないとダメという印象。専門家の先生の見もしっかり聞いて、対応を一緒に考えていただきたい。

3. 活動報告について

- ①包括： 楽しい企画が多くて報告を聞いてとてもワクワクする。
- ②薬剤師： 先日配薬の際にフィリピンフェスティバル終了後で余韻が残っており、本当に楽しそうだった。レクについては全員参加なのか。人によって不穏になる方もいると思うが、どのようにしているのか。

4. グループホームの利用希望者について

包括： グループホーム利用希望の方が地域にいらした場合には、どこに相談すればよいか。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

1. 事故について

- (1) 報告の仕方： 委員の方から意見をいただく時間を十分取りたい。報告書自体の記載を分かりやすくすることで補うようにした。また、怪我やすべての事故を防ぎえないことを踏まえて、重要と思われるものに絞って発表し、皆さんの意見を求めるようにしていく。
- (2) 事故を減らす取り組み：
 - ・新任者への対応(②の意見)：
本社オリエンテーション後、現場オリエンテーションを実施している。
オリエンテーションやOJTについての問題点がないか、具体的に検討できるようにしていく。
 - ・職員の事故に対する意識レベルの問題(③の意見)：
今年度9月から、職員への1対1研修で「福祉サービスにおけるリスクマネジメント」(全3回)を実施している。個々のレベルに応じた研修で職員の意識改革を目指す。
 - ・専門家を巻き込んだ事故防止の検討(③の意見)：
毎月事故防止委員会を社内で開催しているが、誤薬に絞って薬剤師の方の意見をいただくなどの取り組みについても検討する。

2. 活動について

- (1) 外出機会について： 涼しくなるので外に出る機会を増やせるようにする。
- (2) 活動への参加について： 基本的には参加したいかどうかご本人に確認し、途中でも疲れたら部屋へ戻るようにしている。今後も無理のないように参加してもらおう。

3. 相談窓口について

・現在小規模を利用しながらグループホームの入居待ちをされる方も多く、タイミングがあるので、空きが出た時点での優先度の高い方からのご案内となっている。直接グループホームへの問い合わせでも良いし、小規模に問い合わせをいただいても問題ない。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

- ・薬の不足について(歯科医師より質問): 施設等で必要な薬がないようなことがあるか。
⇒(薬剤師)薬によっては足りていない物もあるが、薬の状況については薬局で把握しており、医師に処方の変更をお願いする形で対応。場合により他の薬局を紹介することもあるが、完全にどこからも入ってこないということはないのでご相談いただきたい。
- ・地域の方より(看護)小規模多機能施設とグループホームの違いについて質問あり。説明を行った。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム めぐみ		
所在地	横浜市港北区高田東3-33-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-542-2886
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(8月 31日現在)	女性 7名	男性 2名	計 9名				
要介護度(平均4.0)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	名	2名	3名	1名	3名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる~その一瞬を大切に~ 今年度目標: 「その人らしく生きる」を支え、寄り添う介護を行う。
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・自立支援を促す環境作り 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域との関わる機会を設ける(自治会の防災訓練にご利用者様と参加) ・オープンガーデンに参加 【業務・職員について】 ・認知症ケアの知識・技術の向上 ・職員間の連携強化

4. 活動報告

○社内研修:

ジョブモデルアカデミー(eラーニング)

7月 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修

8月 介護現場で気を付けたいプライバシー保護

○社外研修

7/19 高田地域ケアプラザ 高齢者虐待に関する研修 職員1名参加

7/24 市進教育グループ主催 管理者研修 管理者1名参加

7/30 ウィリング横浜 対人援助技術研修 職員1名参加

○行事

7/7 合同七夕祭り・お茶会(第2回運営推進会議)

7/20 日吉本町西町内会納涼祭

8月はご入居者様希望の食事提供強化月間

8/7 夏祭り 焼きそば・チョコバナナ

8/12 フレンチトースト

8/15 けんちんうどん・ラーメン

8/20 餃子・チャーハン

8/28 ラーメン

8/30 メンチかつ丼

9/3 フィリピンフェスティバル(めぐみ14周年)

9/8 丘の上の音楽会

5. 健康管理

- ・快適な温度・湿度を保ち、定時で換気・消毒をして感染予防に努めています。
- ・毎朝、バイタル測定をおこない普段とは違う様子はないか観察をしています。
- ・定期的な換気、デイルームの消毒を実施しています。

6. 事故・ヒヤリハット報告

<p>内容</p>	<p>事故 6件 (行政報告1件)</p> <p>①転倒 7/1(16:30)居室より音がしたため訪室すると尻もちをついていた。 ②転落 7/4(20:30)ベッドより端座位から立ち上がろうとしたが、ずり落ちて床に座り込んでしまう。 ③誤薬 7/20(11:45)昼食後に夕食後薬(アトルバスタチン)を服薬させてしまった。 ④転落 7/20(23:00)夜間、居室より声がきこえて訪室すると、床に座り込んでいた。 ⑤転倒 8/1(23:55)夜間、声が聞こえ訪室するとベッド横に座り込んでいた。 ⑥転倒 8/16(13:20)居室より大きな音が聞こえ訪室すると壊れたタオルかけの隣で身体の右側を下に倒れていた。</p> <p>ヒヤリハット 13件</p> <p>①転倒・転落の可能性(6件) ②服薬事故のリスク(2件) ③怪我のリスク ④食事のむせこみ ⑤センサー音小さく、聞こえづらかった。 ⑥居室内整理したところ、おにぎりの包装が落ちていたのを発見。 ⑦居室内チェックしたところスタッフの物と思われる緑茶のペットボトルが出てくる。</p>
<p>改善策</p>	<p>事故</p> <p>①【原因】歩行器使用せず居室内を歩かれていた。 入口にタオルかけがあり歩行しづらい状況だが、場所移動は本人が拒否される。 【対策】居室内では歩行器使用しない事が多い為、使用するよう声掛けを継続。</p> <p>②【原因】立ち上がりの補助に使用しているサイドウォーカーの位置をご自分で足元にうつしておられた。 【対策】就寝時にサイドウォーカーが立ち上がりの際に掴みやすい位置に設置されているか確認することとした。</p> <p>③【原因】ダブルチェック時の読み上げが日付と名前のみで服薬時間を読み上げなかった。 夕食後薬の箱と昼食後薬の箱を保管場所からデイルームに同じタイミングで移動していたため、箱を間違えてしまった。 【対策】ダブルチェック時の読み上げは、日付・名前・服薬時間まで読み上げて目視を徹底。 また、服薬前に本人とも声出しでの確認を行う。 夕食後薬の箱は夕食時に出すこととした。</p> <p>④【原因】夜勤者はトイレ掃除をしていてセンサー音に気が付かなかった。 【対策】トイレ掃除を日中に変更した。フロアを離れる前に各居室の巡視をし様子を確認する。</p> <p>⑤【原因】掛け布団に足を引っ掛け、尻もちついた可能性がある。帰宅願望がありその日は不安な気持ちが強かった。 【対策】布団を軽いものへ変更した。不安な気持ちが強い様子の時は居室のドアをオープンにして見守りしやすい体制にすることとした。</p> <p>⑥【原因】歩行器使用せず室内を歩き、よろめいてタオルかけに体重かけたところ壊れ、転倒したと思われる。 【対策】タオルかけを撤去。(ご本人も壊れたタオルかけをみて撤去することに納得される。) タンスにタオル掛けフォルダーを取り付けた。歩行器使用の声掛けは継続する。</p>

7. 地域への情報提供

10月に小規模多機能施設めぐみと合同で運営推進会議を兼ねた運動会を実施予定です。

8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)
 9/2 職員1名 入職